

1	事業名称	タイニーキャンプ(低学年の自然体験)				
2	新規・継続	継続	6年目			
3	趣旨	小学校低学年の子どもたちが、親元を離れて共同生活や自然体験活動を行うことを通して、自分に自信をつけ、協調性を育むきっかけづくりとする。				
4	期日・期間	回数	開始日	～	終了日	期間
		1回	6月15日(土)	～	6月16日(日)	1泊2日
		2回	7月13日(土)	～	7月14日(日)	1泊2日
		3回	10月12日(土)	～	10月13日(日)	1泊2日
		4回	10月26日(土)	～	10月27日(日)	1泊2日
5回	平成26年2月15日(土)	～	2月16日(日)	1泊2日		
5	実施場所	国立信州高遠青少年自然の家				
6	募集人数	150人 (各回30人)				
7	共催・協力・後援	内訳 1回・2回→小学2年生 3回～5回→小学1、2年生 後援 長野県教育委員会・山梨県教育委員会・愛知県教育委員会・伊那市教育委員会				
8	参加者人数	回数	人数			
		1回	49人			
		2回	44人			
		3回	41人			
		4回	43人			
5回	※42名を予定 大雪ため中止					
9	参加者類型	回数	人数	内訳		
		1回	49人	2年男子:23人、2年女子:26人		
		2回	44人	2年男子:18人、2年女子:26人		
		3回	41人	1年男子:11人、1年女子:13人、2年男子:7人、2年女子:10人		
		4回	43人	1年男子:14人、1年女子:12人、2年男子:9人、2年女子:8人		
5回	大雪のため中止	※42名を予定。				
10	参加者地域	長野167人、山梨9人、京都1人 (総合計177人)				
11	参加者分析	広報(チラシ配布)の関係で、長野県内及び山梨県北部の参加者が多いが、ホームページを見て、関東地方からの参加があった。				
12	アンケート満足度	満足 100%	やや満足 0%	やや不満 0%	不満 0%	
13	アンケートの主な記述	低学年のため、記述によるアンケートは行っていない。				
14	成果	<p>・がんばりカードの活用 3つのめあて「あいさつしよう」「自分のことは自分でしよう」「みんなで協力しよう」について、各活動場面毎に「がんばりカード」を活用した。自分たちの活動を視覚的にふり返り、「がんばったらシールを貼る」ことで、次の活動への意欲化を図ることができた。</p> <p>・「冒険の森の活動」の充実 松本短期大学内地留学生の関先生の指導が充実していて、子どもたちの運動遊びをしたときの様子から満足度が高いことがわかる。</p> <p>・冬の活動(本年度は大雪のため中止) そり遊びやスノーキャンドル作りは、ボランティアとともに活動する時間が長く、子どもとのコミュニケーションをさらに図ることができる。</p> <p>・保護者への事後アンケート(実施1ヶ月後) 保護者が子どもを参加させる際、どのようなねらいを持っているかを把握するため、アンケートを行った。「親元を離れ、子どもどうして集団宿泊体験をさせたかった」「子ども自身がたくましくなるといったから」という回答が多く、「体験を通じた自立」を望んでいることがうかがえた。これは、当機構が推進する「体験の風をおこそう運動」に合致するものと考えられる。アンケートの自由記述には、「布団の準備・片付けや食事の準備など、家の手伝いをするようになった」などと書かれていて、このキャンプを通して自信をつけ、自主性を育むきっかけになったことが伺える。</p> <p>・公立施設への普及 本年度は新たに愛知県の1施設が本事業を行い、合計5つの施設(長野県2施設・山梨県2施設・愛知県1施設)で本事業を行った。</p>				
15	今後の課題	<p>・教育現場で課題となっている「発達障害」を持つ子どもの参加が増えている。事前に保護者との連携を密にして、細かい情報を得ると共に、職員とボランティアによるサポート体制の確立を図らなければならない。</p> <p>また、状況によっては、保護者の理解を得て、参加を断ることもあり得る。</p>				
16	担当者メモ	<p>・今回大雪のため冬期のタイニーキャンプは中止となったが、そり遊びやスノーキャンドルも子どもたちの目を十分に輝かせるプログラムである。ボランティアと子どもとのかかわりという点でもメリットを感じられる。・今回のような大雪の場合の中止の判断は難しいところもあるが、交通情報、天気予報をもとに前日には、決定していかなければならない。</p>				

プログラム展開	日程・時間	夏のプログラム	担当（講師等）	
開会式	<b>1日目（土）</b>			
	11:30～12:00	開会式	国立信州高遠青少年自然の家職員	
	12:00～13:00	昼食	国立信州高遠青少年自然の家職員 ボランティア	
	自然体験活動	13:20～16:40	「冒険の森」活動 ①コアラの木登り ②サルの川わたり ③森のくまさん ④ピョンピョンうさぎ  ※雨天屋内体育館 ・ワニの川遊び ・ラッコの綱引き ・サルのロープ登り ・くまさん歩き ・ピョンピョンうさぎ	国立信州高遠青少年自然の家職員 松本短期大学研究生 ボランティア
		17:00～17:20	夕べの集い	国立信州高遠青少年自然の家職員
		17:20～18:30	夕食	国立信州高遠青少年自然の家職員 ボランティア
		18:30～19:30	入浴	国立信州高遠青少年自然の家職員 ボランティア
	読み聞かせ	19:30～20:00	絵本の読み聞かせ	ボランティア
		20:30	就寝	ボランティア
		<b>2日目（日）</b>		
野外料理	7:00～7:20	朝の集い	国立信州高遠青少年自然の家職員	
	7:20～8:00	朝食	国立信州高遠青少年自然の家職員 ボランティア	
	8:00～9:00	清掃・荷物整理	ボランティア	
	9:30～12:00	野外料理（すいとんづくり）	国立信州高遠青少年自然の家職員 ボランティア	
	12:30～13:00	ふりかえり	国立信州高遠青少年自然の家職員 ボランティア	
	閉会式	13:00～13:30	閉会式	国立信州高遠青少年自然の家職員

17



「冒険の森」活動 コアラの木登り



「冒険の森」活動(くまさん歩き)



「自分で」シート敷き



絵本の読み聞かせ



協力して野外料理の準備



野外料理の「すいとん作り」

プログラム展開	日程・時間	冬のプログラム（参考）	担当（講師等）
	<b>1日目（土）</b>		
開会式	11:30～12:00	開会式	国立信州高遠青少年自然の家職員
	12:00～13:00	昼食	国立信州高遠青少年自然の家職員 ボランティア
自然体験活動	13:20～15:00	そりすべり ・100mと120mコースを自由滑走 ・個人で滑走したり、キャンプの仲間やボランティアと滑走したりする。	国立信州高遠青少年自然の家職員 ボランティア
	15:30～16:15	スノーキャンドル作り ・スコップやスプーンで自由に雪像を作る。	
	16:40～17:00	夕べの集い	国立信州高遠青少年自然の家職員
	17:00～18:00	夕食	国立信州高遠青少年自然の家職員 ボランティア
	18:00～18:45	入浴	国立信州高遠青少年自然の家職員 ボランティア
読み聞かせ	19:00～20:00 20:30	絵本の読み聞かせ 就寝	ボランティア ボランティア
	<b>2日目（日）</b>		
	7:00～7:20	朝の集い	国立信州高遠青少年自然の家職員
	7:20～8:00	朝食	国立信州高遠青少年自然の家職員 ボランティア
	8:00～9:00	清掃・荷物整理	ボランティア
もちつき	9:30～12:00	もちつき	国立信州高遠青少年自然の家職員 研修指導員 ボランティア
	12:30～13:00	ふりかえり	国立信州高遠青少年自然の家職員 ボランティア
閉会式	13:00～13:30	閉会式	国立信州高遠青少年自然の家職員



「冒険の森」ボラと一緒にゲーム



「冒険の森」コアラの木登り



野外料理 すいとんづくり

プレイホールで運動遊び  
(雨天時)

ふりかえりシート



野外料理 火を燃やせ